

# 平成29年度 むつ市総合学力調査結果について

学校教育課

## 1. はじめに

### (1) 本資料の対象学年・実施教科について

[小学校5年生] 国語／算数／理科 + 意識調査

[中学校2年生] 国語／数学／英語／社会／理科 + 意識調査

※むつ市総合学力調査は、小学校は5・6年生、中学校は1～3年生で実施しておりますが、本資料では「青森県学習状況調査」で対象となる小学校5年生・中学校2年生を取り上げ、3年間にわたる経年比較を行っております。

### (2) 平均到達スコアとは

あらかじめ、問題の難易度が明らかになっている一つ一つの問題に、受検者がどのように解答したかによって、受検者の学力水準を算出した値です。

単なる正答率ではないので、毎年設問が違っていても到達度として年度比較が可能となります。

### (3) 意識調査の項目について

□簡単にまとめると、以下のようになります。

[学びの基礎力] 教科学力や社会的実践力を身に付けていく上で基礎になる力。

[社会的実践力] 集団の中で良好な人間関係を結び、問題を解決しながら自ら成長を図っていく力。

[学級力] 集団としてのやりとげる力、自律力、対話力、支え合う力、共生力、規律力。

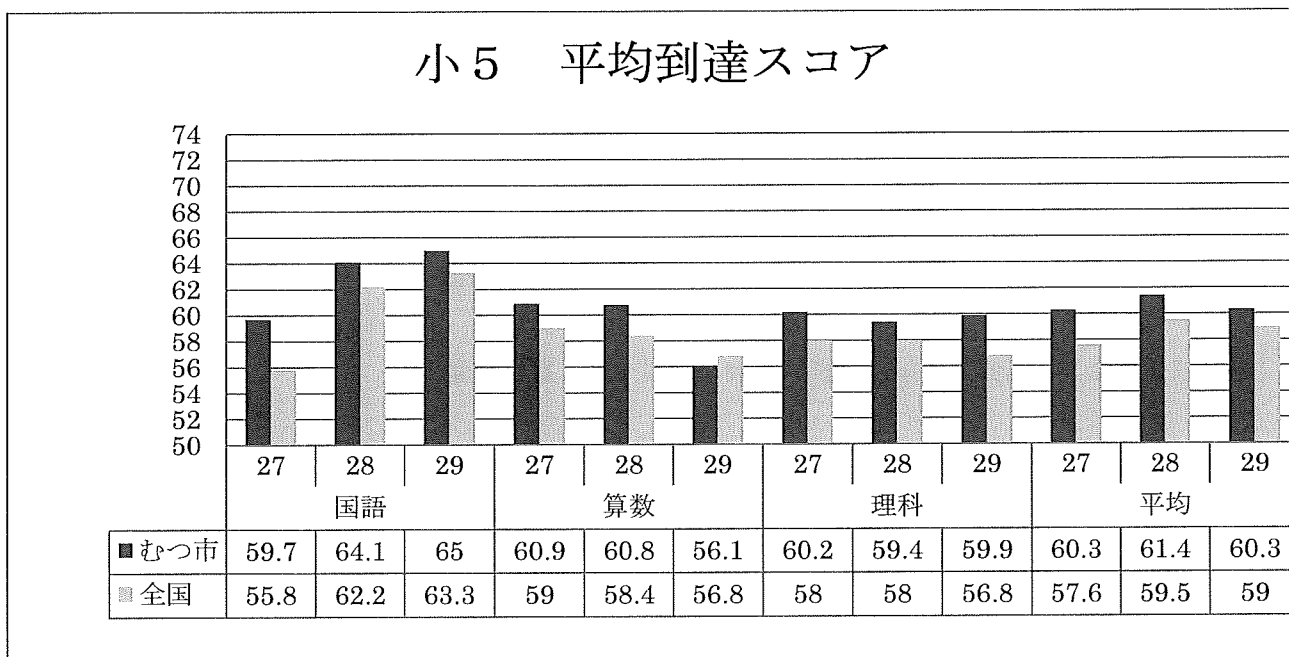
[家庭学習力] 家庭での宿題・予習・復習、自主的学習等を計画的かつ自律的に行う力。

### (4) その他

結果の[考察]においては、本資料の中には表れていない内容も記載している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 2. 小学校5年生の結果

### (1) 各教科の平均到達スコア



#### [考察]

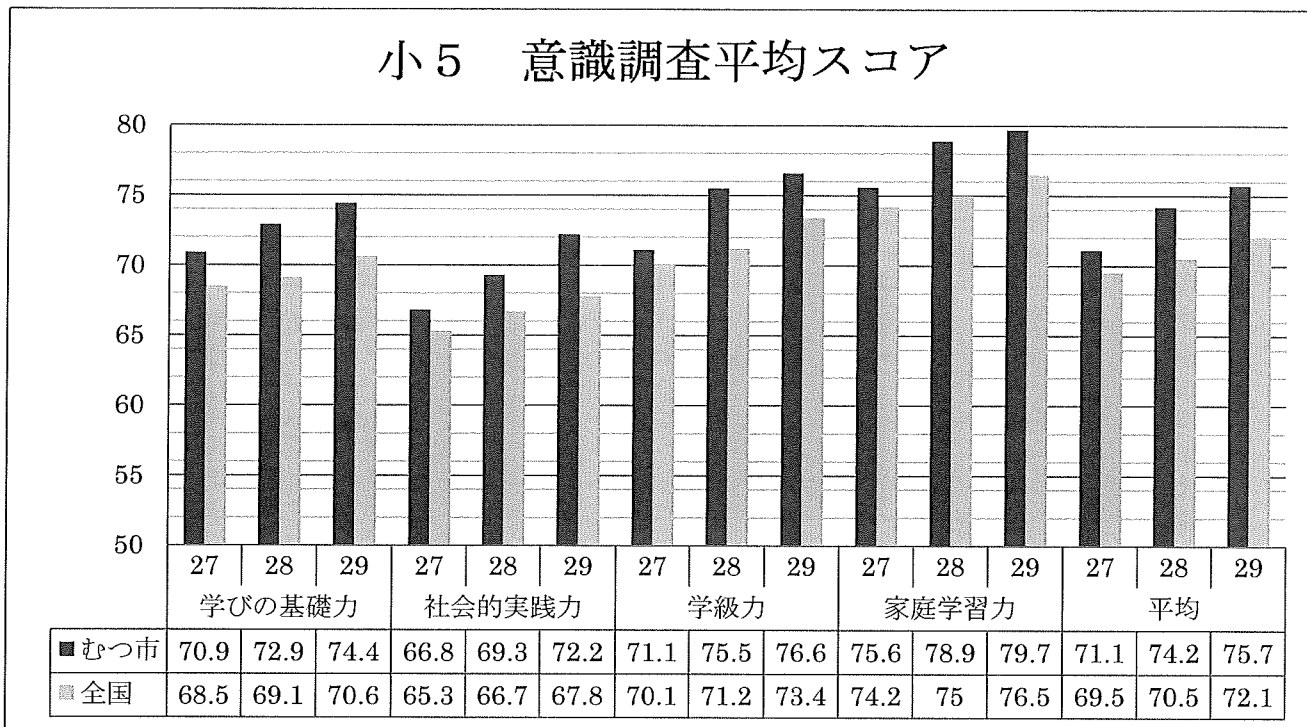
##### ①平成29年度の様子

- 算数ではやや下回ったものの、国語・理科・3教科平均においては、いずれも全国を上回った。
- 国語では、思考力・表現力が求められる応用問題で、全体での再確認が必要との結果が出ている。
- 算数については、上・中位層と下位層との差が大きいという結果が出ている。このことから、下位層の児童に対して、基本的な事項にさかのぼった個別指導が必要だと考える。

##### ②平成27年度からの経年比較

- 国語・・・年々、順調な伸びが見られている。
- 算数・・・過去2年間に比べ、今年度はやや低い数値となった。
- 理科・・・平年度並みである。
- 3教科平均・・・昨年度からは、やや低い数値ではあるが、ほぼ平年度並みである。

(2) 意識調査平均スコア



[考察]

①平成29年度の様子

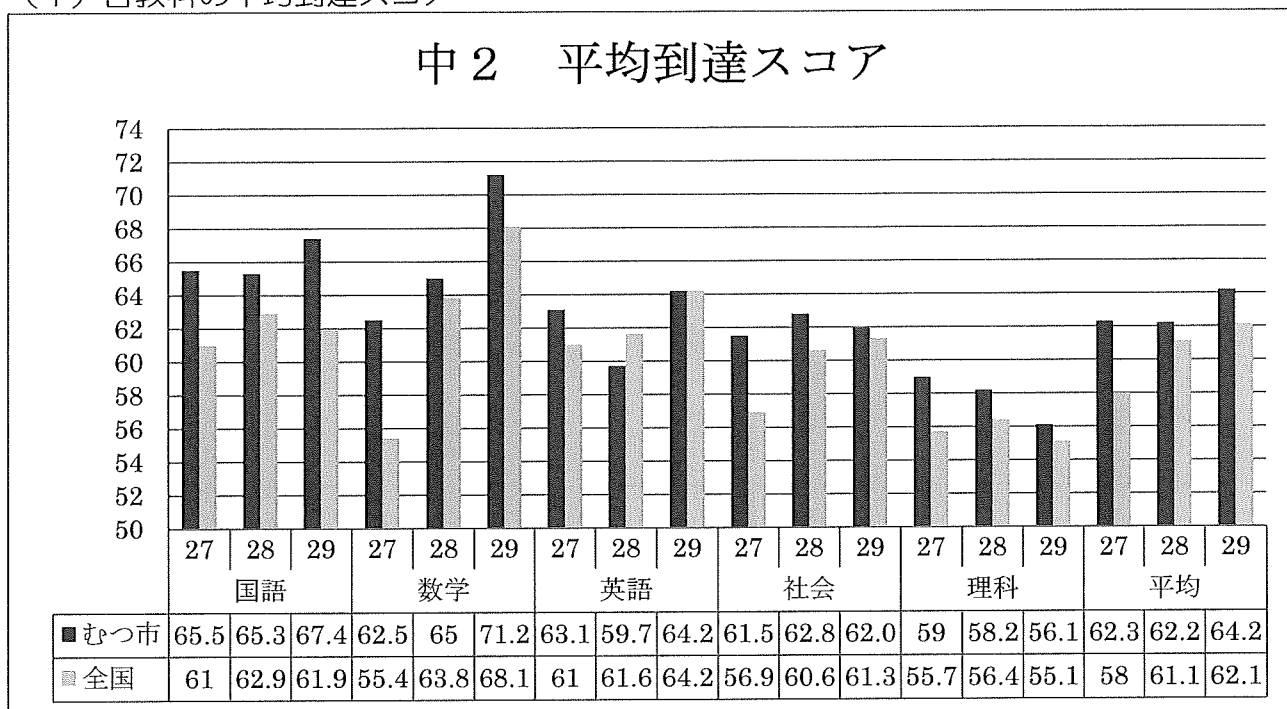
○どの項目においても全国を上回った。「学びの基礎力」の中の「自ら学ぶ力（学習スキル・学習定着のための方略・学習計画力）」が、全国との差が大きかった項目である。

②平成27年度からの経年比較

○全国も同じ傾向であるが、むつ市もすべての項目において、年々数値の伸びが見られている。その中でも、27年度から比べて伸びが大きいのは「社会的実践力」（5.4ポイント）と「学級力」（5.5ポイント）である。

### 3. 中学校2年生の結果

#### (1) 各教科の平均到達スコア



#### [考察]

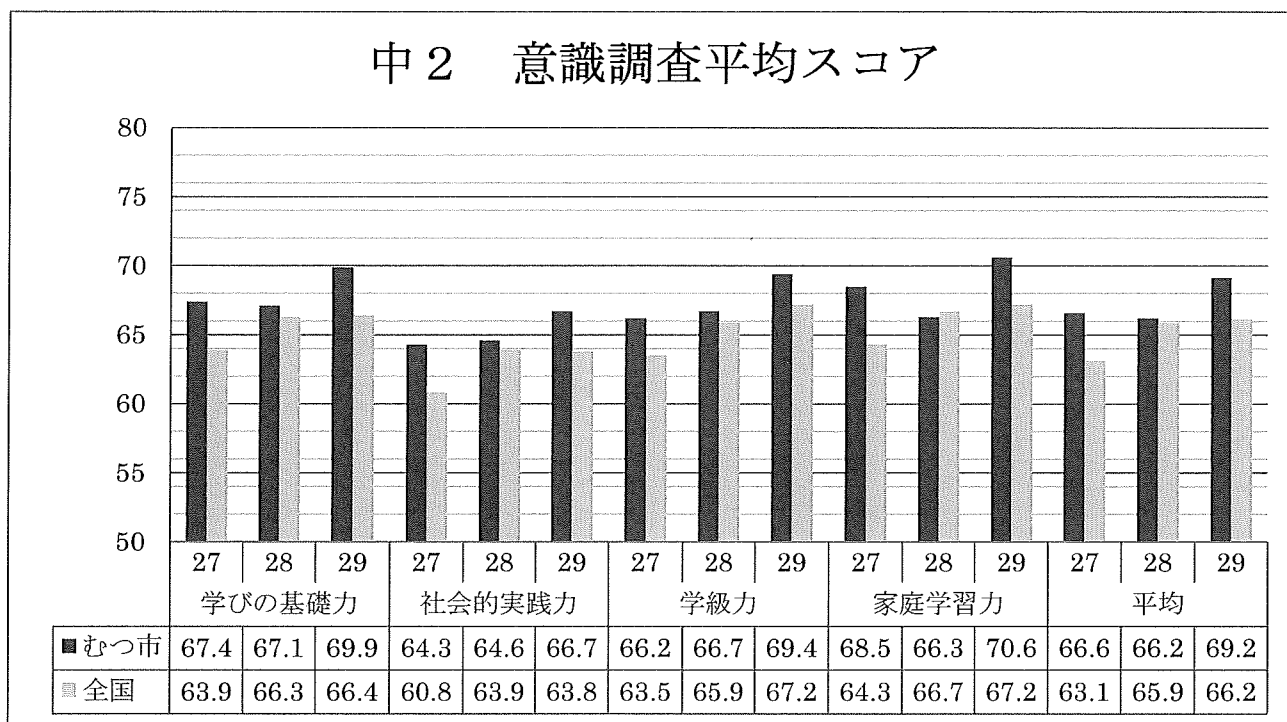
##### ①平成29年度の様子

- 英語は同値であったものの、他教科・5教科平均においては、いずれも全国を上回った。
- 平均到達率が最も高かったのは、数学であり、全国も高い数値を示しているが、5教科の中では唯一、70ポイントを超えた。しかし、基礎問題では、下位の児童に対し基本的な事項にさかのぼった指導が必要との結果が出ている。
- 国語では、思考力・表現力が問われる応用問題において、下位の児童に対する指導の充実が求められる結果となった。
- 英語では、思考力・表現力が問われる応用問題において、全体での再確認が必要との結果が出ている。

##### ②平成27年度からの経年比較

- 国語・・・過去2年間を、若干ではあるが上回った。
- 数学・・・年々順調な伸びが見られ、27年度に比べ8.7ポイントもの伸びが見られる。
- 英語・・・28年度はやや落ち込んだものの、今年度は再び60ポイント台となった。
- 社会・・・ほぼ平年並みである。
- 理科・・・緩やかではあるが、数値は下がってきている。
- 5教科平均・・・27・28年度に比べ、若干ではあるが伸びが見られた。

(2) 意識調査平均スコア



[考察]

①平成29年度の様子

○どの項目においても全国を上回った。中でも、全国との差が大きい項目は、小学校と同様に「学びの基礎力」の中の「自ら学ぶ力(学習スキル・学習定着のための方略・学習計画力)」であった。

②平成27年度からの経年比較

○平成27～28年度においては、ほぼ横ばいであったが、今年度は全項目において過去2年間を上回る結果となった。学習意識の向上が、教科学力の伸びにもつながっていると考えられる。

